

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年6月22日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901357		
法人名	M・Fライフサポート有限会社		
事業所名	高齢者グループホーム なごみ		
所在地	北海道旭川市神楽6条1丁目1番26号 (電話) 0166-62-3630		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年6月18日	評価確定日	平成21年7月6日

【情報提供票より】(平成21年6月1日事業所記入)
(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	15 人
職員数	15 人	常勤 15人, 非常勤 人, 常勤換算 10.4人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2 階建ての	1 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	30,000 ~ 36,500 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(27,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(6月1日現在)

利用者人数	15 名	男性 0 名	女性 15 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名
要介護3	4 名	要介護4	2 名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 85.5 歳	最低 70 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	神楽神経内科医院・沼崎病院・大雪病院・林歯科医院・いまみや歯科医院
---------	-----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

リビングでは、利用者が集い職員と談笑しながら思い思いに過ごし、家庭的雰囲気を醸し出している2ユニットのグループホームです。また、中庭にはベンチが用意され日光浴や運動会の応援の練習、踊りなど職員と一緒に過ごし、ながら喜怒哀楽を共にし、支えあう関係が築かれています。家族との関係も大切に、運動会や夏祭り、敬老会やクリスマスなど参加を呼びかけ不安な点や要望、意見などが言いやすい取り組みが行われ、運営に反映され良好な関係が築かれていると共に一人ひとりの思いや希望に沿って図書館や美術館訪問、桜見物や日本海へのドライブ、冬祭り見物や餅つきなど戸外に多くでかけられる取り組みや楽しみごとへの支援が行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議の定期的な開催が改善点として挙げられていましたが、定期的な開催が行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行われ施設の運営やケアプラン、利用者や家族との連携など具体的課題への改善に活かされています。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は、町内会役員、市民委員会役員、民生委員、家族、利用者、職員が参加して定期的に開催されています。また、運営推進会議は利用者の日常の暮らしぶりや行事参加の様子など見ていただいたり、一緒に参加して過ごして利用者やサービスの実際、ホームの取り組み状況等について話し合いが行われています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族と本人との接点を継続できるように、運動会や夏祭り、敬老会やクリスマスでの餅つきなど一緒に過ごせる機会を多く作る取り組みが行われています。また、それらの行事参加や家族の来訪時には、不安な点や要望、意見など表せる機会を設けてそこでの意見を運営に反映させる取り組みが行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の夏祭り参加や子供神輿との交流、地域の教会の慰問での交流など地元の人々との交流に努めています。また、敷地内の花壇や農園での畑作業などで近隣住民との日常生活を通じた交流や認知症に対する広報や啓発に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、日々の業務を通じてその実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の夏祭り参加や子供神輿との交流、地域の教会の慰問での交流など地元の人々との交流に努めている。また、敷地内の花壇や農園での畑作業などで近隣住民との日常生活を通じた交流や認知症に対する広報や啓発に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行われ施設の運営やケアプラン、利用者や家族との連携など具体的課題への改善に活かされている。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告されている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、町内会役員、市民委員会役員、民生委員、家族、利用者、職員が参加して定期的に開催されている。また、運営推進会議は行事参加の様子や一緒に参加してサービスの実際、ホームの取り組み状況等について話し合いが行われている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政担当者や包括支援センターとの連携の重要性について理解している。	○	今後は、さらに市担当者との連携を推進されることを期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	季節毎に「なごみ通信」を発行して、ホーム行事参加や日常生活の様子など情報提供されている。また、家族の来訪頻度も多く話し合いが行われている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運動会や夏祭り、敬老会やクリスマスでの餅つきなど一緒に過ごせる機会を多く作りそれらの行事参加や家族の来訪時には、不安な点や要望、意見など表せる機会を設けてそこでの意見を運営に反映させる取り組みが行われている。	○	特筆すべき点として、家族と本人との接点を持続できるように、運動会や夏祭り、敬老会やクリスマスでの餅つきなど一緒に過ごせる機会を多く作っている。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、職員の離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症に関する録画放映や毎月開催される全体会議で内部研修が実施されている。また、包括支援センターや外部の研修参加についても職員を派遣している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会で地域の同業者と交流する機会を持ち、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、病院や自宅を訪問して本人の様子を観察したり、体験利用を勧め職員や他の利用者、場の雰囲気に馴染めるよう取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人を介護される一方の立場におかず、職員と一緒に過ごしながら居室の掃除や洗濯物干し、食器洗い、炊作業など本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて散歩や日光浴、花壇や畑作業、ドライブや外出などの外出、ホーム行事への参加など本人の希望や意向を尊重した取り組みが行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成され利用者、家族の希望や職員からの意見を取り入れ具体的にになっている。		
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護支援専門員が中心となって、介護計画の期間に応じて現状に即した介護計画の見直しが行われている。また、状態変化にも現状に即した新たな計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、医療連携体制が活かされ支援されている。また、買い物や通院の送迎、散歩なども支援されている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者をよく知る看護職員が常勤しており、日常の健康管理や主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方についてできるだけ早い段階から本人・家族の意志が段階的に確認されている。また、実際にターミナル・ケアを実践し、医師との連携が密に実践されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	接遇についての取り組みが行われ一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、散歩や買い物、日光浴や畑作業など希望に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	弁当持参のドライブや食事が楽しみなものとなるように、一人ひとりの好みや力を活かしながら利用者と職員と一緒に食材の準備や食事、後片付けなどしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週3回を目安に入浴が楽しめるように工夫されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながらテーブル拭きや茶碗洗い、居室の掃除や洗濯物干し、畑作業など楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、散歩や日光浴、花見やドライブなど戸外に出かけられるよう支援している。また、日常的に外出ができるよう取り組みが行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災通報装置が新たに設置された。また、防火責任者が配置され火災避難訓練が年2回実施されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が常勤で配置されている。また、個別の嚥下状態などによる支援も実施されていると共に具体的な食事や水分の摂取量も把握され個々に応じた支援が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。また、敷地内は、広く花壇や畑が作られ利用者の楽しみごととなっていたり、ベンチが配置され日光浴や運動会の応援の練習や踊りにも利用されている。リビングでは、利用者が集い談笑したり、職員との会話を楽しんだりしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた家具や家電製品などが持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。